

觀測され今回の無條件閉門は多大の注目を惹いてゐる。

全 日 大阪朝日新聞記事

會社の切崩案 因島三庄争議

大阪鐵工所 因島三庄兩工場職工千五百名の労働争議は労資双方相譲らず既に二週間を経過したが御成婚奉祝五日間は争議に關する交渉<sup>を遂行</sup>すること申合せその間會社側は密偵を放つて職工側の結束を切崩し約五六百名は無條件で就業するらしい意向でありから工場は五月二十三日から二十二日間堅く塞してゐた通用門を四日から開放して眞面目に就業するものみに入門を許すと掲示し一部の作業を開始することになつたが争議團では奉祝五日間が待ち切れず四日から新に交渉すると。

六月五日 大阪毎日新聞記事

争議一段落 因島三庄兩工場

大阪鐵工所 因島工場及三庄工場の労働争議の調停につキ争議團幹部は仲介者の意を容れ争議を打ち切ることを決定し四日午後一時半左の覚書を作成し二週間に亘る争議の一段落を見るに至つた。

總ての要求條件を撤回し工場長に一任する。右は資格者(職長小頭)の斡旋によりて協定す。

かくて笹子場長も規定によらぬ同情金一萬圓以上(解雇者百二十名に対し)を給與し一般職工に対しては休業中の日給若干給與し今后能率増進を認めた場合は速かに増給する意向を有するものやうである。

六月五日 大阪朝日新聞記事

解決したといふ三の庄工場争議

争議中の大阪鐵工所 因島の三の庄工場は職工側に倦急の色が見江密かに無條件